



市全体で取り組む

「笑がおろプロジェクト」!



～自分のために我が家でルール～

美濃市連合 PTA・美濃市小中学校 PTA

コロナ禍で、子どもたちがゲームやスマートフォンに接する時間が増えたという実態を受けて、昨年度、美濃市連合 PTA（美濃市連 P）では、「家庭でのゲーム機、スマートフォン、携帯電話などの使い方の約束（ルール）づくり」に市全体で取り組まれました。

（この取組については昨年度の「かてきよーNo.88」に掲載しています。）

今回は、それを引き継いだ今年度の取組を紹介します。

【取組への願い】

（ゲームやスマホを巡る問題が美濃市でも起きているという実態を受けて）
ゲームやスマホ＝「悪」とは考えていない。どのように利用するか、
どのように付き合うかを、子どもと親が一緒になって話し合うことを
通して、子ども自身が主体的に考え、判断していくことを大切にしたい。
（令和2年度美濃市連 P 会長）



コロナ禍において、学校生活や家庭生活等、様々に変化している中で、
ゲームやスマホに関わる問題もその一つだと思う。
子どもが親と共に学んで、共に成長していくことが変化に対応することにつな
がると考える。親と子、親同士のコミュニケーションを大切にすることを
基盤にして、令和2年度の活動の歩みと成果を引き継いでいきたい。
（令和3年度美濃市連 P 会長）

【取組の概要】

【令和2年度】

- ・ゲームやスマホについての子どもの実態に危機感をもった美濃市連 P では、各学校に単位 PTA の会長が出向いて子どもたちにオンラインゲームやスマホの使い方の現状について話し、自分たちはどうしたらよいのかを考えるよう呼びかけられた。
- ・PTA 会長の話を受け、各校で児童生徒が話し合いを行い、出された意見を美濃市連 P に届けた。
- ・届けられた子どもたちの声をもとに、親子で問題を共有し子どもの主体性を生かすために、「家庭で話し合い、自らのルールづくりをする」ことを応援するためのチラシを市内小中学生に配付した。

「ノーテレビ・ノーゲーム」にチャレンジ!

美濃市立藍見小学校

美濃市内の小中学校の中には、「笑がおプロジェクト」が実施される前から毎年継続的にメディアコントロールに取り組んでおられる学校がありますが、藍見小学校もそのひとつです。

藍見小学校では、今年度も、夏休みに引き続いて冬休みにも「ノーテレビ・ノーゲームデー」に取り組まれました。その様子を紹介します。

【主催者の願い】



「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動の一環として『ノーテレビ・ノーゲーム』チャレンジを位置づけ、家庭内のコミュニケーションを深める機会にしたい。

【取組方法】



- 冬休み中に、各家庭でチャレンジができそうな日とコースを選び、チャレンジする。

☆チャレンジコースの種類

- ・しっかりチャレンジ：家族で相談してチャレンジ内容を決める。
- ・夜だけチャレンジ：夜8時を過ぎたらテレビを見ない、ゲームをしない。
- ・自分でチャレンジ：テレビ・ゲームは、それぞれ1日()分間までにする。
(子どもに時間を決めさせる。)
- ・おてがるチャレンジ：食事中はテレビを見ない、ゲームをしない。

- ・チャレンジした内容を「チャレンジ記録表」に記録し、始業式に担任に提出する。

<保護者への案内>

県が推進している「話そう! 語ろう! わが家の約束」の説明と、藍見小PTAとしての願いが明記されている。

実態に合わせていくつかのコースを用意。また、約束を家族で相談したり子どもに決めさせたりするなど、家庭内のコミュニケーションを大切に考えられている。

冬休みにやってみよう。

「ノーテレビ・ノーゲーム」にチャレンジ!

藍見小学校PTA 家庭教育学級

1. 実施の目的について。
岐阜県教育委員会では家庭内のコミュニケーションを深めることを目的に「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動を推進しています。①家族で話し合せて「わが家の約束」を決定する ②取組を実施カード等(県HP様または各校で作成されたもの)に記録する ③実践中や実践後、家族で互いの思いを伝え合う、という3段階を経ていく中でコミュニケーションを深める取組を「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動と定義付けています。
藍見小学校PTAでは、この「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動の一環として『ノーテレビ・ノーゲーム』チャレンジを位置づけ、家庭内のコミュニケーションを深める機会にしたいと考えています。

2. チャレンジのやり方。
・冬休み中に、各家庭でチャレンジができそうな日とコースを選び、チャレンジしてください。
・チャレンジした内容は、チャレンジ記録表に記録してください。
・チャレンジ記録表は、3学期の始業式に担任まで提出してください。

<チャレンジ表>

チャレンジコース	内 容
1	しっかりチャレンジ
2	夜だけチャレンジ
3	自分でチャレンジ
4	おてがるチャレンジ

※各家庭の生活にあわせて、できそうなコースを選んでチャレンジをしてください。
※チャレンジするコースについては、家族で相談して選んでください。
※1番の『しっかりチャレンジ』の内容は、家族で相談して書いて取り組んでみてください。
※『自分でチャレンジ』の内容は、お子さんに時間を決めさせてあげてください。

具体的な取り組み方がわかりやすく記述されている。



<チャレンジ記録表>

「ノーテレビ・ノーゲーム」にチャレンジ!

藍見小学校
年 番 なまえ

チャレンジ記録表 ※3回はチャレンジしよう!

チャレンジした日	チャレンジコース (下のまから、選んでください)	結果 (○をつけよう)	テレビやゲームをしなかった時間は、何をして過ごしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。その他には、家族でふれ合ったことなども書いてください。	チャレンジした感想
月 日 () ()	() チャレンジ	できた、できなかった	勉強・読書・運動・お手伝い、その他()	
月 日 () ()	() チャレンジ	できた、できなかった	勉強・読書・運動・お手伝い、その他()	おうちのかたより
月 日 () ()	() チャレンジ	できた、できなかった	勉強・読書・運動・お手伝い、その他()	

<チャレンジ表> チャレンジするコースは、家族で相談して選んでください。

チャレンジコース	内 容
1. しっかりチャレンジ	
2. 夜だけチャレンジ	夜8時以降はテレビをみない、ゲームをしない。
3. ちょっとだけチャレンジ	テレビ・ゲームは、それぞれ1日()分間までにする。
4. おてがるチャレンジ	食事中はテレビをみない、ゲームをしない。

<コースは、チャレンジする日によって変えても、ずっと同じコースにチャレンジしてもいいです。>

ノーテレビ、ノーゲームにチャレンジするだけでなく、テレビを見なかったりゲームをしなかったりした時間をどう過ごしたかについて記入するようになっていいる。



<チャレンジ記録表より(チャレンジした感想 → 家族からのメッセージ)>

- よる8じ以降はテレビを見ない、ゲームをしないができたのでよかったです。こんどからも守りたいです。(1年生)
 - 我が家ではゲームの時間制限をしています。制限がきたらしっかり止めていました。これからも続けていこう!!
- 「しっかりチャレンジ」とか「おてがるチャレンジ」とか「夜だけチャレンジ」をやってみたらぜんぶできたので、それをつづけてゲームとかやらないようにしたいです。(2年生)
 - クリスマスプレゼントでゲームをもらったのでゲームばかりやってしまうと思いましたが、自分で決めたことはしっかり守ることができたのでよかったです。(家族から)
- 目が悪くなるのがいやなので、チャレンジをがんばりました。(3年生)
 - 1日中ゲームをしない!というのはこの時代なかなかむずかしい事だな、と……。がんばりましたネ。
- ノーテレビ、ノーゲームにチャレンジして、テレビやゲームをする時間をへらせたし、テレビやゲームをしていない間、ピアノやお手伝いなどがたくさんできました。(4年生)
 - 冬休みは本当にたくさんお手伝いをしてくれました!!いつもおうちの仕事を助けてくれてありがとうね。ゲームもたくさんやらずにえらかったよ。
- 少しでも家族とすごす時間も大切にしたいと思ったし、ゲームやテレビをあまりやらないようにしたいです。(5年生)
 - テレビやゲームは楽しいけれど、家族みんなで会話したり大そうじをしたり、そういう時間はとても大事ななので、これからもその事を考えながら過ごせたらなと思いました。
- いつもは気にせずテレビやゲームをやっているけど、計画を立てることによっていろいろなチャレンジに取り組むことができました。冬休みが終わっても少し気にしてテレビやゲームをしたいと思えます。(6年生)
 - 普段何気なくTVをつけていることが多いので、チャレンジに取り組むことで、少しTVやゲームの時間など気にかけることができました。これからも「お手軽チャレンジ」だけ続けたいと思えます。(食事中家族の会話が増えたのでよかったです。)

取材を終えて・・・

チャレンジ記録表には、家庭での温かい様子が伝わってくるようなメッセージがたくさん書かれていました。約束づくりにおいて、家族で考えたり自分で決めたりする場面が位置づけられているのも素敵ですね。ぜひ参考にさせていただきたい取組です。



閉級式 ちょっとひと工夫！

年が明け、閉級式や引継ぎの季節に入ってきました。一年間の最後に、「学びの価値づけ」を意識してみませんか？

☆閉級式、こんな流れでしめくくりのメッセージを…

① 家庭教育学級の意義・目的の再確認

私たちは子育てをしながら親になっていくという未熟な存在です。だからこそ、子どもの育ちや子育てについて学び続ける必要があるのです。互いの悩みを分かち合ったり、他の人の考えや方法を知ったりしながら、心を軽くしたり、明日からの子育てのエネルギーを得て、学んだりすることが大切です。その場として、「家庭教育学級」を一年間開催してきました。



② 1年間の実践(学び)の紹介

今年度実施した全ての講座を紹介しましょう。実施日・内容・講師・参加者の感想など、「行ってよかった」「行けばよかった」と思ってもらえるような伝え方ができるといいですね。

③ 参加や協力のお礼

多くの方々の協力によって1年間の家庭教育学級を終了することができます。役員さんへのお礼はもとより、その他の方々に感謝の気持ちを伝えましょう。都合をつけて参加して下さったこと、アイデアの提供や参加への声掛けなど、いろいろお世話になっているのではないのでしょうか。



④ 役員の感想

1年前を思い返してみましよう。学級長に決まったとき、どんなお気持ちでしたか？「がんばるぞ!」「できるかしら」「何をすればいいの？」など、様々な思いがあったことでしょう。そして今、どんなお気持ちですか？自分なりによくがんばったこと、役員をやってよかったこと、勉強になったこと、先生とたくさんお話できたことなど、たくさんの成果が得られたことと思います。学級長さんだけでなく、役員さんたちの感想もぜひ伝えてください。



コロナ禍で、対面での閉級式ができないところも多いと思います。そうした場合も、お便りなどで今年度のまとめを行い、しめくくりのメッセージを送れるといいですね。